



横浜市立城郷小学校
明治33年6月創立

学校だより

めざす子ども像

令和3年4月30日

5月号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます◆

これからに生かす

こうちょう さんべい あつし
校長 三瓶 淳

「あ、ぜっこうちよ〜う先生！こんばんは。」と声をかけられたのは、私が出張先から学校へ戻る途中、学童クラブから帰宅する子どもたちに出会った時でした。本校に赴任してまだ1か月足らずで、校外で出会う子どもたちに声をかけてもらえたのがとても嬉しく、また、会話の最後に「出張、お疲れさまでした。」という労りの言葉に、疲れも吹っ飛ばすような思いでした。この件は、放送朝会でも『魔法のことば』という題で、全校に話しました。『「おはようございます。」「ありがとうございます。」「ごめんなさい。」などは、相手の気持ちを温かくし、エネルギーを与えるものであるけれど、返してもらえなかったり、無視されたりすると気持ちが落ちて、悲しみを感ずってしまうこともある。』という内容です。コロナ禍のため、マスク越しになり、相手の表情の変化までは分かりづらいご時世ですが、全校で『魔法のことば』を**意識して生活していきたい**と思います。

さて、この1か月の間にたくさんの地域の方々とお会いする機会がありました。お会いした方々は、口々に「学校のため、子どもたちのため、地域のために何かできることはないか」と城郷小学校に対する思いや愛を語ってくださいました。現在もコロナ禍は刻々と変化し、予断を許しません。保護者や地域の方を一齐にお招きすることは、未だに難しい状況ですが、実施方法を考え、早めに情報提供をしていきたいと思います。その手立てを次に記載します。

<今年度、推進していくもの>

- 学校ホームページを活用した情報発信【「学校日記」日々更新】
- 後期より、ペーパーレス化の推進（学校配布物をホームページ「配布文書」に掲載）
- 申請やアンケートなどを電子申請化（紙媒体からスマートフォンやパソコンで申請）
- 電話の留守番対応（17時半〜） ※対応の詳細は、学校だより4月号に記載済み

ところで、今大リーグで大活躍しているのが、大谷翔平選手ですね。恵まれた体格と投打の二刀流を武器に、その力を余すことなく発揮していると思います。振り返れば、日本のプロ野球に入団した時の監督が、投打のどちらか一つに絞って育て上げるべきという外部からの意見を退け、二刀流を認めたことが、今の**大谷選手のパフォーマンスにつながっているとも言えます**。日本は過去の成功例から、「こうあるべき」という理論が主流になりがちです。もし、それに沿った育成となっていたら、今の**大谷選手は出現しなかったかもしれない**。そう考えると、このコロナ禍は、「こうあるべき」では**進まない、なり立たないものがある世の中になっていると**感じます。制限があるようで、実は工夫次第で、**自分をより生かせることが生まれる**！ちょっと、一緒に探してみませんか？